

顧客満足度No.1企業を目指す 設計・成形・加工まで一貫生産

太平株式会社
代表取締役社長

石崎 直樹 氏



—多品種小ロットに幅広く対応—

貴社の強みは何でしょうか。

設計から成形・加工まで一貫生産しており、他社がやらない多品種小ロットに応えられる点です。100個単位で受注するプラスチック成型メーカーはなかなかないと思います。自動化できない仕事が多く、その分中国など海外への移管が進まなかったともいえます。

一般に、プラスチック成型の工場は無人化が進んでいますが、当社の工場は機械に人が付いており、しかも、隣の機械とは全く違う作業をしているのも特徴です。

リーマンショックの時は厳しかったですが、色々な取引先の仕事をしているお陰で、2割程度の落ち込みで済みました。

多様な製品を扱っているということですが、教育はどのようにされていますか。

OJTが基本で、配属ごとに現場で教えています。特殊な技術が必要とする作業はありませんが、FRPローラーなどは、精密フィルムの巻芯になるので、高い精度が求められます。ISOの規格に沿って作業を標準化しています。作る製品が変わっても仕事の中身は変わりません。

人材の確保はいかがですか。

毎年、新入社員を3~4人採用しています。地元が多く、離職率は低いです。今は忙しいので、定年で退職された人にも声をかけ、活躍してもらっています。

経営の意思疎通はどうされていますか。

取締役会や生産、品質の会議を毎月行っています。会議に時間をかけるのが好きではないので、資料を事前に配り、出席者が目を通

してくるようにしています。

また、毎朝工場を回って現場の社員に声をかけています。まだまだ生産性が上がる余地はあります。今年度の経営方針でも「全員が常に問題意識を持ち、会社の将来に大きな夢を描き、CS No.1企業を目指そう」と打ち立てました。

—時代に合わせ異素材へシフト—

設立から95年経ちますが、どのような変遷だったのでしょうか。

当社の前身は1915（大正4）年、後に衆議院議員となる松村謙三氏と、桜ヶ池の建設など地域振興に尽力した井口仁志氏が立ち上げたMY商会です。地域の方々からの出資を募り、1924年に「太平木工（株）」が設立されました。

当初の資料などは残っておらず詳しくは分かりませんが、木製玩具などを製造していたようです。パリ万博に出品し、高級なおもちゃは東京の百貨店でも販売して皇室へも納め、浩宮様（皇太子徳仁親王）が当社製の木馬で遊んでおられる写真も残っています。ドールハウスを輸出したこともあります。戦時中は戦闘機の燃料タンクや飛行訓練用のグライダーまで木で作っていたようです。

ライフスタイルの西洋化が進んだ高度経済成長期の1961年、玩具製造をやめ、家具の製造を始めま

した。東京に家具専門の販売会社も立ち上げ、百貨店などへ高級家具を納めました。

当初は木製品を手がけていらしたのですね。

昭和に入って始めた製糸業界向けの撚糸ボビン製造が長く当社の柱になっていました。1939年には木に代わる素材としてプラスチックでの製造に着手し、化学繊維が登場すると1954年には樹脂製ボビンの製造を開始しました。

その後、プラスチックの需要が拡大し、樹脂部門の売上も多くなったので、1971年に社名を「太平（株）」に変更しました。

プラスチック事業にうまく移行されました。

樹脂ボビンは当社を含めて国内に2社しか製造しておらず、利益率の高い仕事でしたが、1970年代からニクソンショックとオイルショックを経て、繊維産業の海外移転が進み、ボビンの需要が激減しました。以後、当社でも様々な工業製品の部品を手掛けるようになったのです。

1991年には大阪の取引先からの依頼でFRPの製造を始めました。**木工部門はどうなっていますか。**

2001年に家具製造を完全にやめました。最後は、毎月500万円程の赤字を、プラスチックの利益で埋めていました。整理するのに2

億円の赤字を出し、ボーナスも削減しましたが、人員整理はせず、ボーナスも2年で元に戻しました。**今後の展望は。**

現在、FRP、タイカグライト、スーパーエンブラを3本柱として好調に推移していますが、今後も愚直に地道に、多品種少量の特殊な要望にきめ細やかに応えていきたいと思っています。新しい分野にも挑戦したいと考えています。

座右の銘を教えてください。

「誠」です。お客様にも、従業員にも、社会にも、嘘をつかず、「誠意」をもって当たることをモットーに仕事をしてきました。

もう1つ、本で読んだ「過去と他人は変えられないが、未来と自分を変えられる」というエリック・バーン（精神科医）の言葉が心に残っています。過去を振り返ってばかりいるのではなく、努力して自分を変えて、未来に向かって行くのが好きです。

こういう話をすると、社員から「社長はO型だから楽天的だ」と言われるのですが、社長が暗い顔をしているより、楽天的で明るい方がいいでしょう。

会社概要

太平株式会社

設立：1924(大正13)年1月
所在地：南砺市福光737
資本金：3億円
事業内容：工業用プラスチック製品の製造、CFRP・GFRP等高機能部品の製造
従業員数：80名(2019年3月現在)
売上高：11億600万円(2018年1月期)
事業所：本社工場、高宮工場、大阪営業所
URL：http://www.taihei-toyama.co.jp/

— 略 歴 —

1946(昭和21)年1月生まれ。68年太平木工(株)(現太平(株))入社、94年総務部長、97年取締役就任。2003年4月から代表取締役社長。現在、富山県年金受給者協会会長、福光経営懇話会会長なども務める。

